

# 2011年3月期 連結決算説明資料

双葉電子工業株式会社

2011年5月13日

 注意事項

本資料に記載されている金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 目次

- 
- 経営施策の状況 P 2 ~ 5

---

  - 業績ダイジェスト P 6 ~ 7

---

  - 増減要因(売上高・営業利益) P 8 ~ 9

---

  - セグメント別業績状況 P10 ~ 11

---

  - 四半期別業績推移 P12 ~ 14

---

  - 貸借対照表の概要 P15

---

  - キャッシュ・フロー P16

---

  - 翌期の経営施策(事業拡大施策と継続的な収益改善施策) P17

---

  - 業績見通し P18
-

# 経営施策の状況

## 事業拡大施策

### 電子部品事業

- 有機EL製品の拡販開始  
(民生機器用成約、車載用256x128のサンプル出荷)
- タッチパネル事業稼動  
(民生家電用成約、量産設備導入開始)
- 車載関連市場参入による北米での基板実装事業の伸長



## 経営施策の状況

事業拡大施策

### 電子機器事業

- 2. 4GHz新製品プロポ「4PKS」、「T6J」、ヘリ用ジャイロ「GY701」、「CGY750」を発売
- 大手パートワーク(分冊百科)販売会社からのホビーロボット用サーボ大口受注



# 経営施策の状況

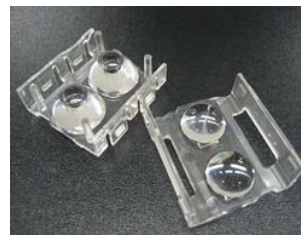
## 事業拡大施策

### 生産器材事業

- 国内成長分野(車載用リチウムイオン電池やレンズなど)への高精度ダイセットの拡販
- 中国販売拠点の強化(マーケティング部門新設)

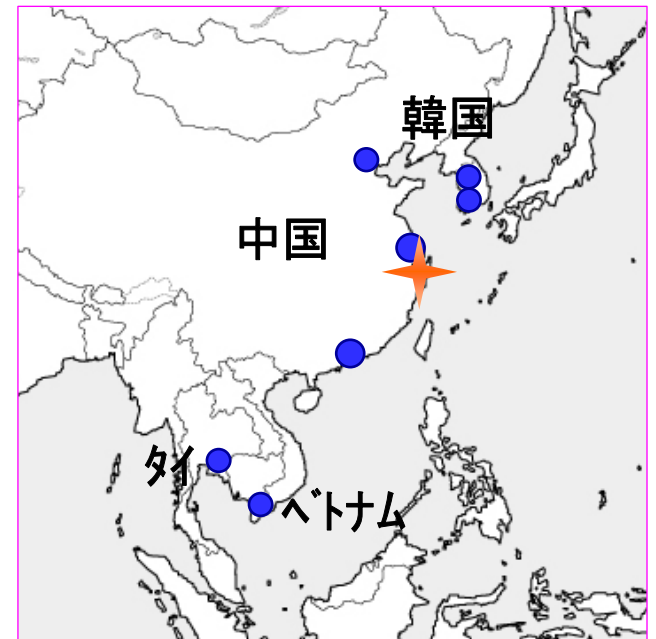


デジタルカメラ用レンズ



LEDライト用レンズ

株式会社 白川金型製作所様よりご提供



# 経営施策の状況

継続的な  
収益改善施策

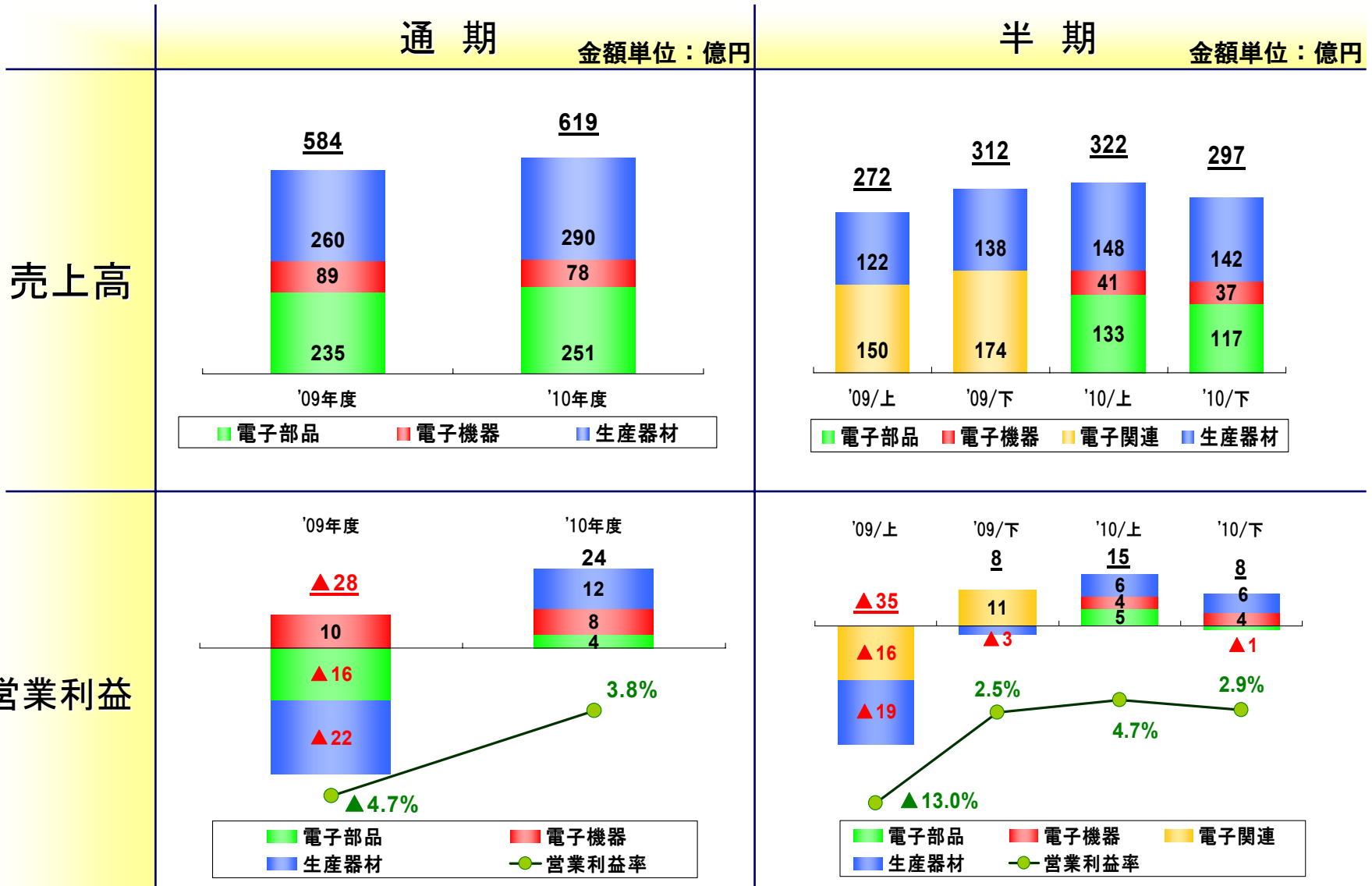
電子部品事業	<ul style="list-style-type: none"><li>●海外製造子会社における自動化や工程改善による歩留向上を目的とした諸施策の実施</li></ul>
電子機器事業	<ul style="list-style-type: none"><li>●中国生産拠点強化および材料現地調達率の拡大推進</li></ul>
生産器材事業	<ul style="list-style-type: none"><li>●製造工程のロボット本格稼働による生産性の向上</li><li>●国内営業所の統廃合、不採算事業子会社の整理、鋳物製造子会社の吸収合併</li></ul>

## 業績ダイジェスト (1)

(金額単位：百万円)

	'09年度 (実績)	'10年度 (計画)	'10年度 (実績)	計画比		前期比	
				増減額	比率	増減額	比率
売上高	58,401	63,000	61,888	▲1,111	98.2%	3,487	106.0%
営業利益 利益率(%)	▲2,751 (▲4.7)	2,400 (3.8)	2,368 (3.8)	▲31	98.7%	5,119	—
経常利益 利益率(%)	▲2,730 (▲4.7)	1,300 (2.1)	1,435 (2.3)	135	110.4%	4,165	—
当期純利益 利益率(%)	▲19,124 (▲32.7)	▲700 (▲1.1)	▲902 (▲1.5)	▲202	—	18,222	—
設備投資	4,285	3,400	2,825	▲574	83.1%	▲1,459	65.9%
減価償却費	5,567	3,900	3,713	▲186	95.2%	▲1,854	66.7%
研究開発費	2,003	2,100	2,166	66	103.2%	163	108.1%
人 員							
国内	1,486人	1,529人	1,497人	▲32人		11人	
海外	3,777人	4,190人	4,172人	▲18人		395人	
平均為替レート	93円/\$	85円/\$	86円/\$	1円/\$		▲7円/\$	

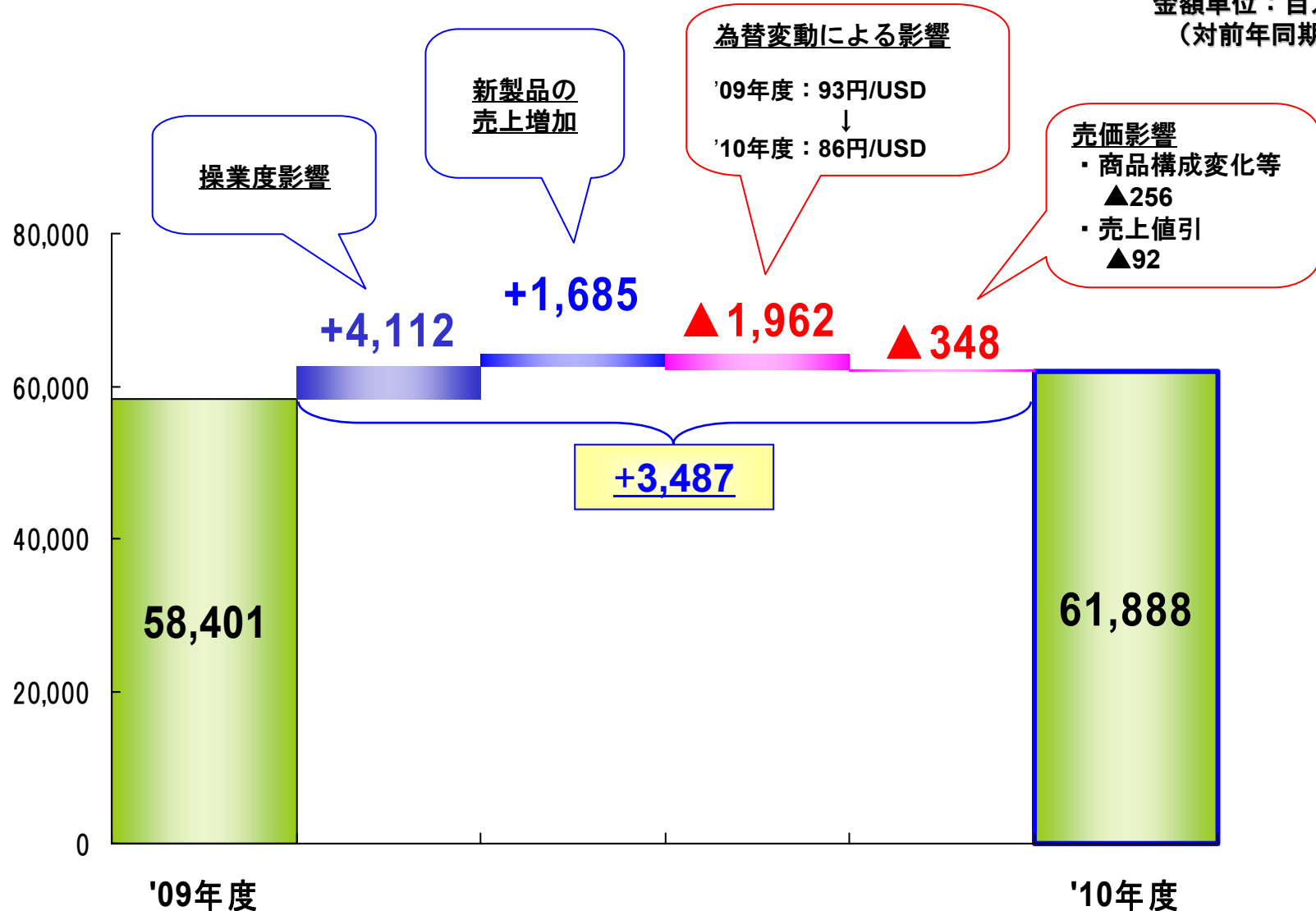
## 業績ダイジェスト (2)



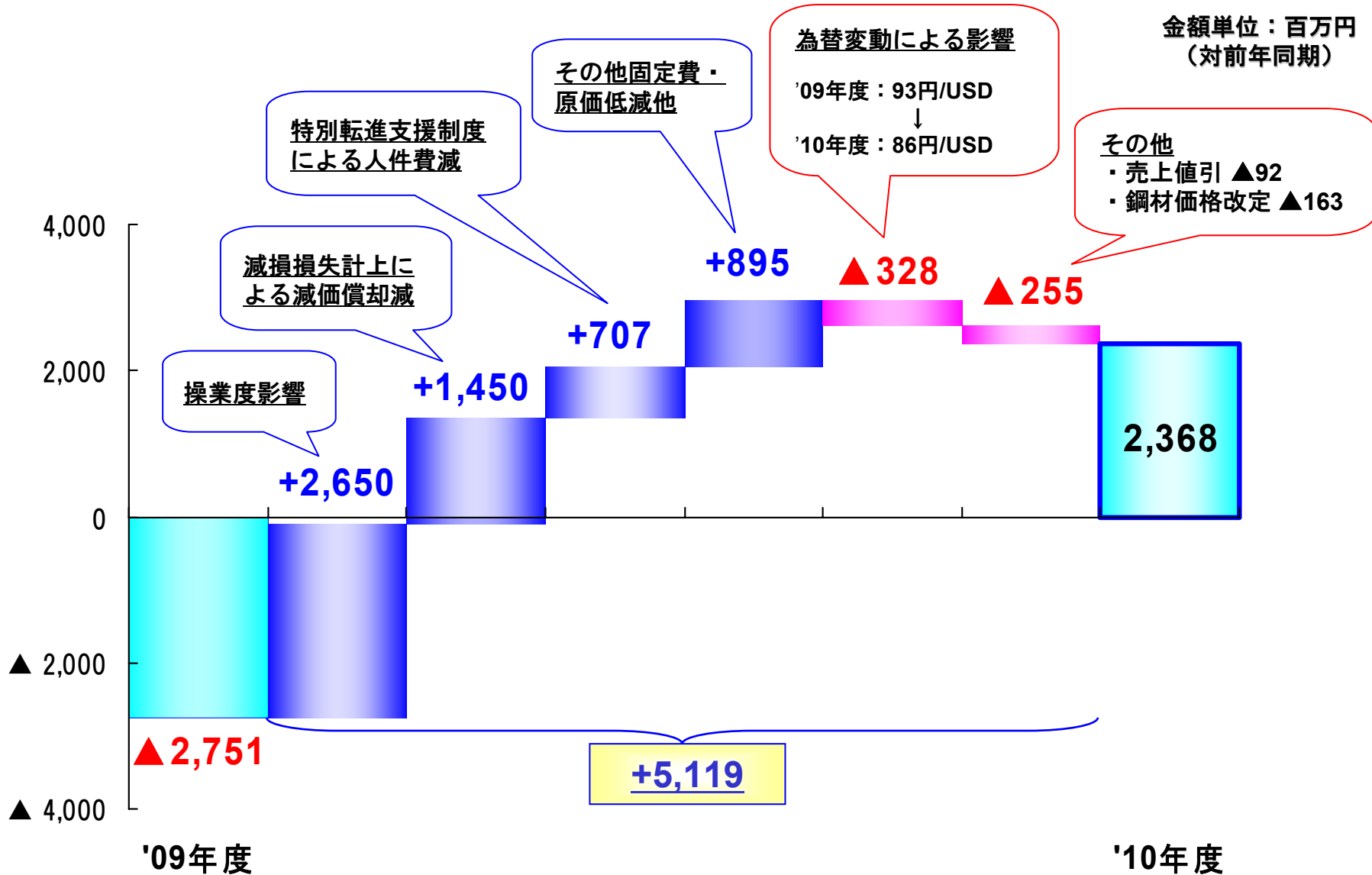


## 増減要因 (売上高)

金額単位：百万円  
(対前年同期)



## 増減要因 (営業利益)



## セグメント別業績状況 (電子部品および電子機器)

(金額単位：百万円)

	'09年度			'10年度			前年同期比 (下期対比)	前期比
	上期	下期	年間	上期	下期	年間		
電子部品	—	—	23,516	13,338	11,747	25,085	—	106.7%
電子機器	—	—	8,920	4,080	3,698	7,779	—	87.2%
<b>売上高</b>	15,038	17,398	32,437	17,418	15,442	32,861	88.8%	101.3%
電子部品 利益率(%)	—	—	▲1,574 (▲6.7)	514 (3.9)	▲104 (▲0.9)	410 (1.6)	—	—
電子機器 利益率(%)	—	—	1,006 (11.3)	378 (9.3)	379 (10.3)	758 (9.7)	—	75.4%
<b>営業利益</b> 利益率(%)	▲1,624 (▲10.8)	1,056 (6.1)	▲568 (▲1.8)	893 (5.1)	275 (1.8)	1,168 (3.6)	26.1%	—
設備投資	1,334	2,025	3,360	960	903	1,863	44.6%	55.5%
減価償却費	1,721	1,217	2,939	1,014	1,027	2,041	84.3%	69.5%
研究開発費	760	738	1,499	781	888	1,670	120.3%	111.4%

- '10年度の売上げは前年度を上回り、経営施策効果により営業黒字に転換。
- 蛍光表示管は、国内では期前半にエコカー向けの売上げが伸長したが、補助金制度などの縮小により前期を下回る。海外では米国の自動車向けが急速に回復、中国・東南アジア市場では自動車向け、映像・音響向けが増加し、売上げは前期を上回る。
- 蛍光表示管モジュールは、郵便番号自動区分機向けが好調。海外ではPOS用途向けが引き続き好調。売上げは前期を上回る。
- ホビー用ラジコン機器は、国内・海外ともに低迷し売上げは減少。産業用ラジコン機器は、クレーン付車両向けや農業関連向けが順調。ロボット用機能部品は、大手販売会社から新規受注を獲得。

## セグメント別業績状況 (生産器材)

(金額単位：百万円)

	'09年度			'10年度			前年同期比 (下期対比)	前期比
	上期	下期	年間	上期	下期	年間		
売上高	12,191	13,773	25,964	14,789	<b>14,238</b>	<b>29,027</b>	103.4%	111.8%
営業利益	<b>▲1,920</b>	<b>▲262</b>	<b>▲2,183</b>	626	<b>572</b>	<b>1,199</b>	—	—
利益率(%)	<b>(▲15.8)</b>	<b>(▲1.9)</b>	<b>(▲8.4)</b>	(4.2)	<b>(4.0)</b>	<b>(4.1)</b>		
設備投資	304	620	924	433	<b>528</b>	<b>962</b>	85.3%	104.1%
減価償却費	1,443	1,185	2,628	842	<b>829</b>	<b>1,671</b>	70.0%	63.6%
研究開発費	260	242	503	260	<b>235</b>	<b>496</b>	97.1%	98.5%

- '10年度の売上げは前年度を上回り、また経営施策効果により営業黒字に転換。
- 国内では、エコカー用電池、モーターなどの環境対応製品向け、レンズなどの精密分野への営業活動に注力し、売上げは前期を上回る。
- 韓国では自動車用途が横ばいに推移し、携帯電話用途や家電用途が低調に推移したため、売上げは減少。
- 中国では中国国内向けの販売を大幅に拡大し、売上げは増加。また、マーケティング部門を設置し、中国市場販売の強化に努めた。

# 四半期別業績推移 (1)

(金額単位：百万円)

		'09年度				'10年度				前年同期比	前四半期比	
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		増減額	比率
電子関連	電子部品	—	—	—	—	6,839	6,498	5,948	5,798	—	▲149	97.5%
	電子機器	—	—	—	—	2,000	2,080	1,734	1,963	—	229	113.2%
	計	6,943	8,094	8,791	8,607	8,840	8,578	7,683	7,759	90.1%	76	101.0%
生産器材		5,852	6,338	6,752	7,020	7,658	7,131	7,250	6,987	99.5%	▲262	96.4%
売上高		12,796	14,433	15,543	15,628	16,497	15,702	14,941	14,747	94.4%	▲193	98.7%
電子関連	電子部品 利益率(%)	—	—	—	—	218 (3.2)	296 (4.6)	172 (2.9)	▲276 (▲4.8)	—	▲448	—
	電子機器 利益率(%)	—	—	—	—	153 (7.7)	225 (10.8)	129 (7.5)	249 (12.7)	—	119	192.3%
	計 利益率(%)	▲1,459 (▲21.0)	▲165 (▲2.0)	580 (6.6)	475 (5.5)	371 (4.2)	522 (6.1)	302 (3.9)	▲26 (▲0.3)	—	▲328	—
生産器材 利益率(%)		▲1,369 (▲23.4)	▲551 (▲8.7)	19 (0.3)	▲282 (▲4.0)	479 (6.3)	147 (2.1)	401 (5.5)	170 (2.4)	—	▲231	42.5%
営業利益 利益率(%)		▲2,828 (▲22.1)	▲716 (▲5.0)	600 (3.9)	192 (1.2)	850 (5.2)	669 (4.3)	704 (4.7)	143 (1.0)	74.5%	▲560	20.4%
経常利益 利益率(%)		▲2,886 (▲22.6)	▲1,349 (▲9.4)	1,039 (6.7)	467 (3.0)	451 (2.7)	152 (1.0)	399 (2.7)	432 (2.9)	92.5%	32	108.1%
四半期純利益 利益率(%)		▲7,172 (▲56.1)	▲9,441 (▲65.4)	819 (5.3)	▲3,328 (▲21.3)	▲505 (▲3.1)	▲133 (▲0.8)	▲32 (▲0.2)	▲230 (▲1.6)	—	▲197	—
平均為替レート		97円/\$	94円/\$	90円/\$	91円/\$	92円/\$	86円/\$	83円/\$	82円/\$	▲9円/\$	▲1円/\$	
期末為替レート		96円/\$	90円/\$	92円/\$	93円/\$	88円/\$	84円/\$	81円/\$	83円/\$	▲10円/\$	2円/\$	

# 四半期別業績推移 (2)

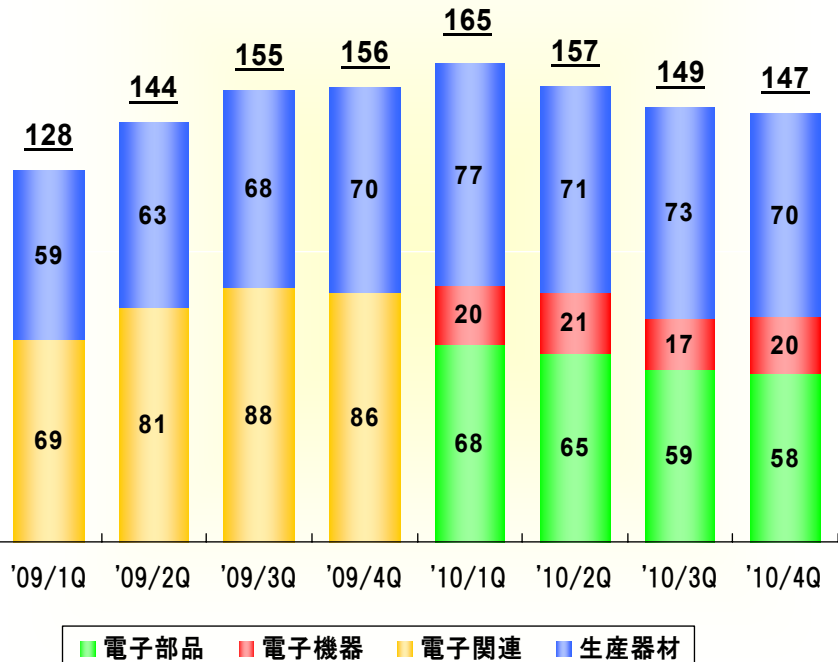
(金額単位：百万円)

	'09年度				'10年度				前年同期比	前四半期比		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		増減額	比率	
	電子関連	電子部品	—	—	—	—	420	501		428	<b>330</b>	—
	電子機器	—	—	—	—	8	29	73	<b>71</b>	—	▲2	96.8%
	計	863	470	694	1,331	429	531	501	<b>401</b>	30.1%	▲100	80.0%
	生産器材	195	109	196	423	220	212	282	<b>245</b>	58.0%	▲37	86.9%
	設備投資	1,059	580	890	1,755	649	744	784	<b>647</b>	36.9%	▲137	82.5%
電子関連	電子部品	—	—	—	—	423	426	427	<b>440</b>	—	13	103.1%
	電子機器	—	—	—	—	83	81	78	<b>81</b>	—	2	103.6%
	計	856	864	592	625	506	507	505	<b>521</b>	83.4%	16	103.2%
	生産器材	716	726	541	644	434	408	417	<b>412</b>	64.1%	▲4	98.9%
	減価償却費	1,572	1,591	1,133	1,269	940	915	922	<b>934</b>	73.6%	11	101.2%
電子関連	電子部品	—	—	—	—	276	287	296	<b>325</b>	—	28	109.7%
	電子機器	—	—	—	—	82	135	104	<b>161</b>	—	56	154.2%
	計	431	329	275	462	358	423	401	<b>487</b>	105.2%	85	121.3%
	生産器材	112	148	201	41	114	145	118	<b>117</b>	285.9%	▲1	99.1%
	研究開発費	543	478	477	503	473	568	519	<b>604</b>	120.0%	84	116.3%
	国内	1,815人	1,496人	1,488人	1,486人	1,568人	1,551人	1,531人	<b>1,497人</b>	11人	▲34人	
	海外	3,421人	3,461人	3,547人	3,777人	4,060人	4,065人	3,976人	<b>4,172人</b>	395人	196人	
	人 員	5,236人	4,957人	5,035人	5,263人	5,628人	5,616人	5,507人	<b>5,669人</b>	406人	162人	

# 四半期別業績推移 (3)

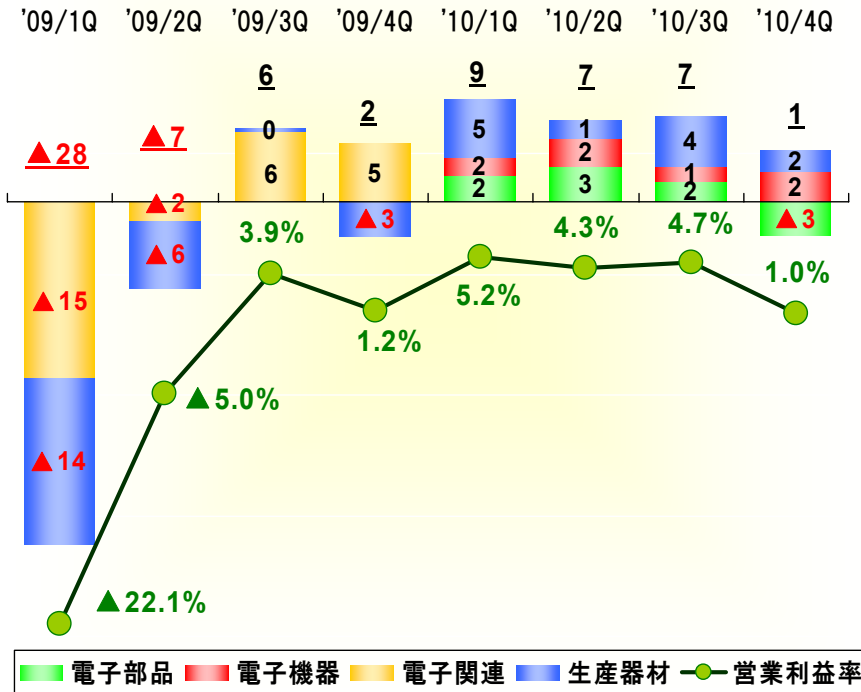
## 売上高

金額単位：億円



## 営業利益

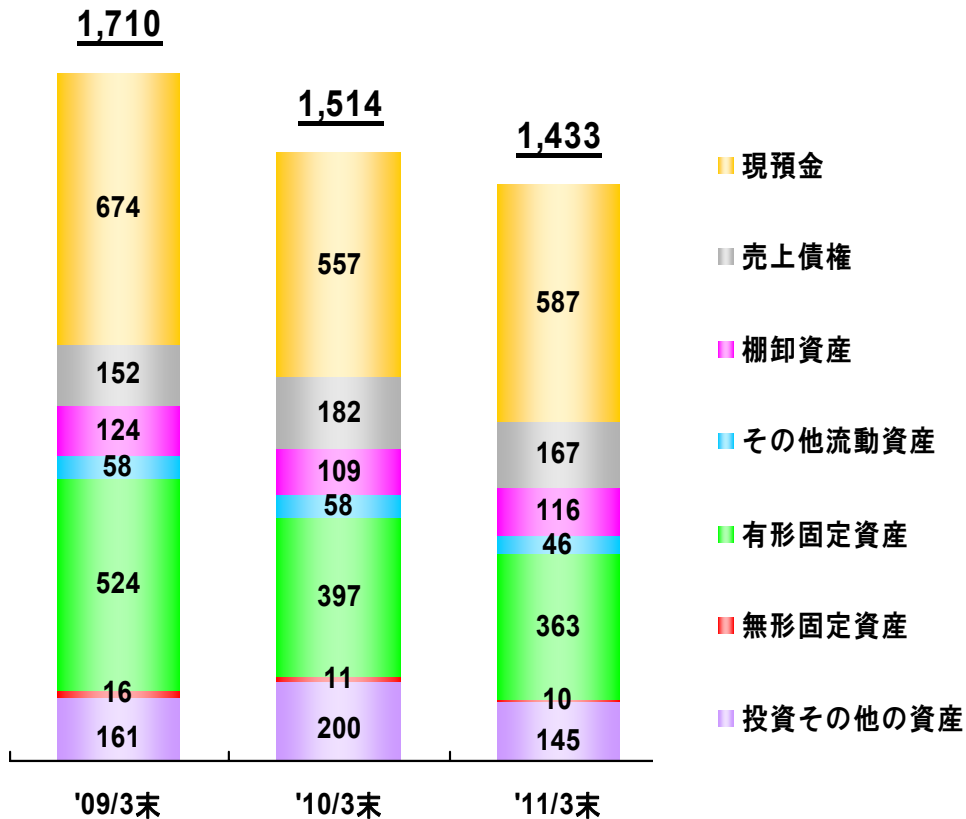
金額単位：億円



# 貸借対照表の概要

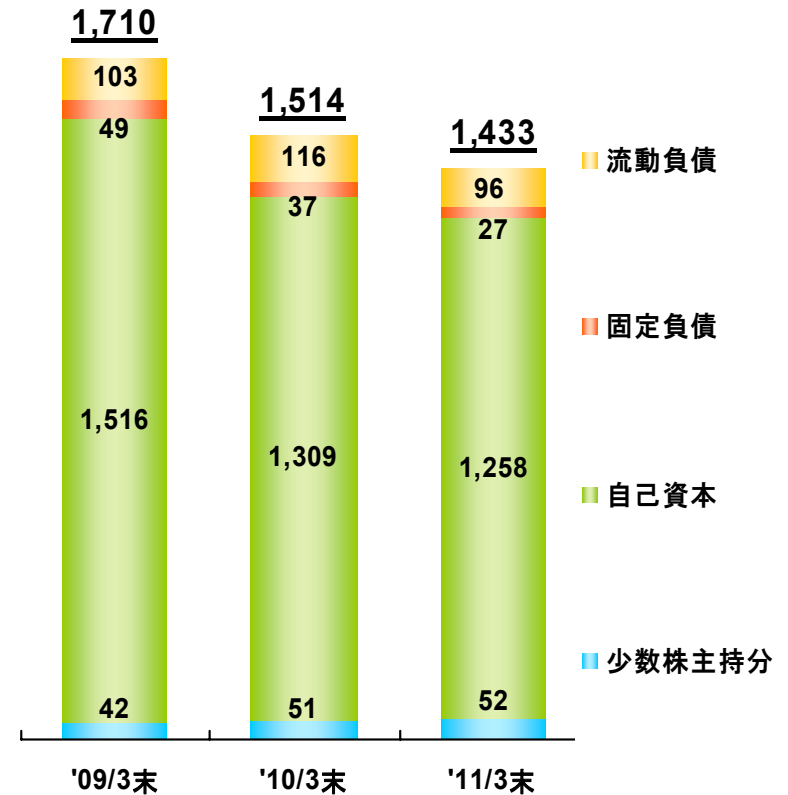
## 資産

金額単位：億円



## 負債・純資産

金額単位：億円





# キャッシュ・フロー

(金額単位：百万円)

		'09年度	'10年度	増減
税金等調整前純利益		▲18,319	▲192	18,127
減価償却費		5,567	3,713	▲1,854
運転資金の増減	売上債権	▲1,692	939	2,631
	棚卸資産	1,553	▲1,141	▲2,695
	仕入債務	377	128	▲249
その他(※)		12,314	2,000	▲10,314
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		▲198	5,446	5,645
有形固定資産の取得・売却		▲2,958	▲2,016	942
その他		▲3,912	▲10,539	▲6,627
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		▲6,871	▲12,556	▲5,685
借入金の増減		▲117	▲452	▲334
その他		▲3,586	▲1,798	1,787
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		▲3,703	▲2,250	1,452
現金及び現金同等物の期末残高		46,346	35,574	▲10,771

※ 営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」には、以下の減損損失を含んでおります。

'09年度(年間) 10,700百万円、'10年度(年間) 1,588百万円

# 翌期の経営施策 (事業拡大施策と継続的な収益改善施策)

2011年度

## 事業拡大 施策

電子部品事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郵便仕分け機、EV用充電スタンド、スマートグリッド等社会インフラ事業への拡販</li> <li>● 有機EL、タッチパネルの車載市場への拡販</li> <li>● 蛍光表示管モジュール事業で培った回路技術を活用した基板実装事業の拡大</li> </ul>
電子機器事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災無線、監視計測市場への産業用ラジコンの事業の拡大</li> <li>● 高い信頼性に加えコスト対応力を強化した2.4GHzシリーズを中級機種に展開</li> <li>● 模型用モーター事業への新規参入</li> </ul>
生産器材事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● EV関連製品等、成長産業への拡販</li> <li>● 中国市場への売上拡大策の詳細設計</li> <li>● 金型用センサー、ホットランナー、画像検査装置など周辺機器事業の再構築</li> </ul>

## 継続的な 収益改善 施策

電子部品事業	● 海外製造拠点の再編と高付加価値製品の海外生産の拡大
電子機器事業	● 国内子会社の主力製品である模型用エンジンの一部品種を中国生産子会社へ生産移管
生産器材事業	● 日本で構築したロボットラインの海外水平展開

# 業績見通し

翌期の業績見通しにつきましては、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響により、現時点では、不確定要素が多く合理的な算定が困難であるため未定とさせていただきます。

なお、業績見通しの算定が可能になりました時点で速やかに公表いたします。